

# 日本大学商学部

NIHON UNIVERSITY COLLEGE OF COMMERCE

## Guidebook 2021



# まっさらに、まっすぐに。

選べる7つの専門コースや2年次から入室可能なゼミナール、短期海外研修、大学独自の留学制度など、夢に向かって自由にグローバルに学修できる日本大学商学部。ビジネスの仕組みを基礎から学び、多様な業界で活躍できる社会人へと成長するための4年間は、卒業後の進路や自分の将来像に直結しています。明るく開放的なキャンパスで、社会へ飛び立つその日に向けて、幅広い知識や教養を身につけ、感性を研ぎ澄ましていきませんか。





## 日本大学商学部の教育方針

### ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

日本大学商学部は、日本大学学則第1条に掲げた「自主創造」を教育の基本理念とし、その教育理念を達成するために学士課程を通して、自立した個性・豊かな人間性・専門的創造性・世界的視野を持つ人材の育成を目指す。そして、グローバルビジネス社会に対応できる実学を学修し、日本だけでなく、世界で新しく生まれるビジネスシーンを創造し、現代社会が直面する諸問題の解決を通じて、人々の幸福の増進に寄与できる人材を養成し、8つの能力<sup>※1</sup>を修得するために設定された卒業要件を満たした者に、学士(商学)の学位を授与する。

### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

日本大学商学部は、日本大学の基本理念である「自主創造」の精神にもとづき、ディプロマ・ポリシーに適う人材を養成するため、4年間を通じて、体系的なカリキュラムを編成し、実施することによって、8つの能力<sup>※1</sup>を修得することを目指す。また各科目における教育内容・方法、成績評価方法及び評価基準をシラバス等で明示し、学生に周知した上で、実施する授業形態に即し、公正かつ厳正に評価を行う。

### アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

日本大学商学部は、日本大学の教育理念である「自主創造」の精神に基づき、商学・経営学・会計学の修得を通じて、実学としてのビジネスに関する幅広い知識と教養を身に付け、社会環境の変化に対応できる人材の育成を目指しています。商学部の教育方針を理解し、日本のみならず世界のビジネス環境が直面する諸問題の解決に向け、誰とでも協働しながら、学修を自主的に継続できる生徒を求めています。そのために、多様な選抜方法によって、知識、能力、意欲及び態度を有する者<sup>※2</sup>を受け入れます。

※1 P.08の「日本大学商学部のカリキュラム」をご覧ください。

※2 詳細は「日本大学商学部ホームページ」をご覧ください。

## Guidebook 2021 INDEX

日本大学商学部の強み	04
日本大学商学部のカリキュラム	08
1年次の学び	10
商業学科の学び	12
経営学科の学び	14
会計学科の学び	16
インゼミ大会	18
国際交流	20
就職サポート	22
進路サポート	24
奨学金制度	26
学生寮	27
サークル活動	28
イベント	29
キャンパス紹介	30
入学者選抜試験情報	34

## 116年の歴史で培われた日本大学商学部の強み

分析する力とグローバルな視野を備えた  
専門能力をもつ人材の育成。

日本大学は1889年、初代司法大臣の山田顕義を学祖に創立。「自主創造」の精神のもと、あらゆる学問領域を網羅する16学部を擁し、これまで118万人を超える卒業生を輩出してきた国内最大規模を誇る総合大学です。そのなかで116年の歴史と伝統を誇る商学部は、商業・経営・会計の3つの学科を設置し、流通の仕組みから、金融、保険、証券、マーケティングなど幅広い分野を対象に、世の中の商品やサービスの流れについて研究。グローバル化やIT化など変化の激しい市場環境で求められる実践的な問題解決能力を備えた人材を養成しています。また時代に即した語学教育では、国際的なビジネスの場で通用する語学力を修得するための科目を開講し、グローバル社会のビジネスリーダーをめざします。100人以上の専任教員による充実した授業、専門知識をより深く学べる7つのコースなど、独自の強みを活かした「21世紀における学びと創造の場」と呼ぶにふさわしい日本大学商学部を分かりやすく紹介します。



商学部の特徴 ①

# 101

2年次から選択できる  
多様なゼミナール

調査・発表・討論を通じて主体的に研究を深めていくゼミナールに重きを置く日本大学商学部では、101を超える豊富な研究テーマを用意。2年次から所属できるのも大きな特徴の一つです。

→ 詳細は商業学科P13、経営学科P15、会計学科P17をご覧ください

# 100

好奇心を刺激する  
100名以上の専任教員陣

一学部にも関わらず、広い教養と見識を持った専任教員陣が100名以上在籍。例えば人気のマーケティングの領域だけで7名の教員が担当するなど、それぞれの分野で充実した授業を展開しています。

→ 詳細は日本大学商学部ホームページをご覧ください



# 7

適性に合わせて選べる  
7つのコース

1年次に学修した専門基礎科目などによって興味・適性を見極め、2年次から7つのコースのうち1つを選択。専門知識をより深く学ぶとともに、将来を見据えた社会人としての基礎力も育成します。

→ 詳細はP08をご覧ください



商学部の特徴 ④

# 18

未来を切り拓く  
資格講座

就職活動に有利に働くことはもちろん、社会で活躍するために役立つ18の講座を開講。学外よりも安価な費用で受講することができることも魅力の1つです。

→ 詳細はP24をご覧ください



商学部の特徴 ⑤

# 46

多種多様な  
学部公認クラブ・サークル

日本大学商学部には、スポーツ系、学術・文化系それぞれ多種多様な学部公認クラブ・サークルがあります。仲間同士、共通の目標に向かって、切磋琢磨し合いながら活動を行っています。

→ 詳細はP28をご覧ください



# 12

## 公認会計士試験合格者数 (日本大学全体23名)

※2019年度実績

医師・弁護士に並ぶ国家3大資格であり難関試験として知られる公認会計士試験に、2019年度、商学部から12名(既卒者含む)の合格者を輩出しました。資格試験に合格するための充実したサポート体制や、理解をより深めることができる関連性の高い授業を多数受けられることも、商学部の大きな強みです。

→ 詳細はP24をご覧ください



## 日本大学のさらなる発展に寄与する商学部校友会

日本大学商学部校友会は、商学部卒業生によって構成される同窓会組織であり、その活動は「校友との絆を深め、校友の輪を広げること」「学部との連携を図り、在学生を支援すること」「校友会本部、他学部校友会・同窓会との連携を強化すること」を基軸に、日本大学ならびに日本大学商学部の発展に寄与することを目的としています。『日本大学』の旗印を基にそれぞれの校友が各業界で協力し、切磋琢磨できる環境を整えることも校友会の役割のひとつです。在学生の皆さんとの直接的な関わりにおいては、インゼミ大会での「校友会賞」の進呈や、砵祭と同時に開催される「ホームカミングデー」の協賛、また校友会・学生団体意見交換会および交流会などを通じて、さまざまな意見やアドバイスを送っています。創立130周年を迎えた日本大学と商学部校友会は今後のさらなる発展に向けて活動していきます。

# 89,968

※これまでの商学部卒業生数

→ 詳細はWebサイト(日本大学商学部校友会で検索)をご覧ください

# 日本大学商学部のカリキュラム

広く、深く、学べるのが日本大学商学部の個性です。

日本大学商学部では、3学科7コース制を採用しています。1年次では、豊かな人間性、ものごとを多角的に見ることのできる柔軟な思考・理解力・対応力を養う「総合教育科目」と、ビジネスを学ぶうえで基本となる商学・経営学・会計学・経済学の「専門基礎科目」を学びます。2年次以降は、「学科所属科目」と「コース専門科目」でビジネスの理論と実践力を培い、グローバル社会のビジネスリーダーとして活躍できる人材を養成します。

## 学習ではなく学修へ

知識や経験を蓄える「学習」から、日本大学商学部のカリキュラムを修める「学修」へと学びのスタイルが変わります。

## 「自主創造」の3つの構成要素及び8つの能力



村田 英治 教授

## 「自主創造型ビジネスパーソン」の養成をめざして。

日本大学の基本理念である「自主創造」のもと、商学部では自主創造型ビジネスパーソンを養成することを目標としています。4年間を通じて「自主創造」の3つの構成要素と、それから派生する8つの能力を修得していただくために、また学生のみなさん各自がめざす将来の姿へと近づくために、どの年次に、どの授業を、どの順番で選択すべきかという履修系統図を用意。さらに教員による学修サポートを行いながら、学生本位で選択できる時間割編成も整備しています。

## 商業学科

変化が激しい市場環境に対応できる実践的な人材を育成します。

ビジネス・経済に関わる専門的な知識を基に、マーケティング、流通、貿易、金融、ビジネス法務など多様な科目群を総合的・体系的に学びます。

## 経営学科

企業やNPO団体を研究し、経済動向に対応できる「経営する力」を養います。

市場の進展に対応する各種の事業創造、組織、戦略、管理などを専門的に学び、リーダーとしてのマネジメント能力を身につけます。

## 会計学科

企業の経営活動の動きを管理できるスペシャリストを目指します。

企業の経営活動を貨幣量、物量から把握・分析し、経営管理に役立てるとともに、投資家などに情報を開示するのが会計の主な役割です。

1年次

2年次

3年次

4年次

卒業要件 (124単位)

全学共通教育科目 「自主創造の基礎1」「自主創造の基礎2」 (必修4単位)

全学共通教育科目 (4単位)

総合教育科目

総合科目 (選択20単位)

外国語科目 (必修14単位)

スポーツ科目 (必修2単位)

総合教育科目  
(36単位)

専門基礎科目  
(必修8単位・選択8単位)

学科所属科目

商業学科 学科所属科目 (選択20単位)

経営学科 学科所属科目 (選択20単位)

会計学科 学科所属科目 (選択20単位)

コース専門科目

マーケティングコース (選択18単位)

グローバル・ビジネスコース (選択18単位)

金融エコノミーコース (選択18単位)

マネジメントコース (選択18単位)

事業創造コース (選択18単位)

アカウンティングコース (選択18単位)

会計専門職コース (選択18単位)

その他専門科目 (選択18単位)

専門教育科目  
(72単位)

自由選択  
(12単位)

# 1年次の 学び



## ■ 1年次の学び

4年間を通じて修得する専門知識の基礎や、ものの見方・考え方を基礎からしっかりと学びます。座学のみならず、グループディスカッションやプレゼンテーションをはじめとするアクティブラーニングを取り入れることで、理解をより深めていきます。また日本大学商学部の特徴として、学科にかかわらずすべての学生が、商学、経営学、会計学、経済学の入門編を学びます。これによって広く商学全体の基礎固めを行うのみならず、2年次よりはじまるゼミナール参加への意識を高め、大学4年間の過ごし方、卒業後の進路についても考える1年間となります。

## 総合教育科目

3つの科目領域「総合科目」「外国語科目」「スポーツ科目」は、4年間の体系的な学びの基礎となる科目です。

### 総合科目

豊かな人間性、ものごとを多角的に見ることのできる柔軟な思考、理解力、対応力が養われます。

### 外国語科目

語学力、グローバルな視点を育みます。第1外国語は英語、第2外国語はドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語／朝鮮語から選択できます。

### スポーツ科目

スポーツを通じて体力向上をはかるとともに、心身の健康への知識、コミュニケーション能力を養います。

## 専門基礎科目

商学入門1、経営学入門1、会計学入門1、経済学入門1の必修4科目で専門知識の基礎を固め、2年次からのコース選択の手がかりを見つけることを目標とします。

## ■ 1年次の科目

全学共通教育科目 ・自主創造の基礎1・2

総合教育科目	<b>■総合科目</b> ・哲学A・B ・論理学A・B ・倫理学A・B ・宗教学 ・歴史学A・B ・文学A・B ・文学史A・B ・日本文化論A・B ・文章表現A・B ・日本国憲法 ・法学 ・社会学A・B ・政治学A・B	・地理学A・B ・文化人類学 ・教育学A・B ・数学A・B ・統計学 ・心理学A・B ・科学技術史A・B ・環境と生態A・B ・地球科学A・B ・生物科学A・B ・健康とスポーツ ・異文化コミュニケーションA・B	<b>■外国語科目</b> ・英語1～4 ・ドイツ語1～4 ・フランス語1～4 ・スペイン語1～4 ・中国語1～4 ・韓国語／朝鮮語1～4 ・英会話A～F	<b>■スポーツ科目</b> ・スポーツA
	・商学入門1・2 ・経営学入門1・2 ・会計学入門1・2 ・経済学入門1・2			

専門基礎科目

・経済・ビジネス数学入門 ・ビジネス法務入門 ・ビジネス統計入門 ・金融入門	・キャリアデザイン入門 ・コンピュータリテラシーA・B ・簿記論1
---	---

## ■ 学びの特徴

### Point 1 段階的な履修体系

学生が将来的にどのような職業に就き、どう活躍したいかという目標に向けたコース選択に加え、目標達成のために必要な科目を段階的に履修することができる履修系統図を提示。どの年次に、どの授業を、どの順番で履修すべきか、在学中の学びの全容を一覧で見ることができます。またセメスターごとに担当教員によるサポートを実施し、履修が着実に行われているかを確認することができます。



### Point 2 学生本位の時間割

基本を重視しながらも、段階的で着実に学修が深まるカリキュラム体系の構築をめざしました。学生の将来的な目標を達成するための各コースの履修系統に従った時間割の編成が可能に。受講すべき授業の日程が重なるなど従来からの課題をクリアし、どのコースに所属する学生であっても、1年次から4年次まで、スムーズで段階的な履修ができるようカリキュラムを整備しています。



## ■ 2年次からはじまるゼミナール

講義形式で行われる授業とは異なり、少人数・対話形式で行われるゼミナールは、調査・発表・討論を通じてビジネススキルを磨く学びの場です。他大学のゼミナールは3年次からスタートする機会が多いなか、2年次から所属できることが大きな特徴。「ゼミの日本大学商学部」とも言われる本学部では、90を超える研究テーマを設置。また3年間で1つの学問領域を研究し徹底的に議論し合えるこの環境は、学修面はもちろん、先生や仲間、OB・OGとの深い交流を育むことができるため、生涯の財産を手に入れる貴重な機会でもあります。

商業学科 P12へ

経営学科 P14へ

会計学科 P16へ

学部の垣根を越えて意見交換し、  
交流を深める学びの場「日本大学ワールド・カフェ」



日本大学全学部共通の初年次教育科目である「自主創造の基礎1・2」は、大学生としての能動的な学修方法を学ぶほか、多様な価値観や考え方を知るとともに、チームワークを養うことを目的とした授業。この授業で行われているのが、大学全体で約16,000人を数える1年生が文系、理系、医歯薬系と学部の垣根を越えて交流できる「日本大学ワールド・カフェ」です。日本大学ならではのスケールメリットを生かしたこの取り組みでは、あらゆる学部の学生が集い、カフェのようなオープンな空間で自由に意見交換し、学びを深めます。新たな視点や発見を得て、人間力を育む経験となることはもちろん、かけがえのない仲間・人脈を作る貴重な機会でもあります。



投資信託  
非金融法人等

銀行等

借入金

## 商業学科の学び

商業学科では商品を取引する制度や慣習、形態を具体的に学修します。もともと商品取引は目に見えるもの(有形財)を扱うことが中心でしたが、現代ではサービスやアイデア(知的財産権など)といった目に見えないもの(無形財)を扱う場面が増えています。また皆さんにとって馴染み深いと思われるマーケティングは、商業におけるひとつの側面として重要な役割を担っているものです。また生産と消費のバランスをとる際に不可欠な物流、貿易、金融などの側面も社会全体として見たときに大変重要な要素と考えられます。

## 商業学科のコース

### マーケティングコース

社会の変化、多様な顧客ニーズを解明し、マーケティングの基本原理や哲学、戦略、仕組み、プロセスなど実践を通じて体系的に学びます。

#### → 目指す将来像

- 商品の新しい売り方を提案したい
- 広告や宣伝の仕事に就きたい
- 営業、販売促進の仕事で活躍したい
- 商品の企画やブランド戦略に興味がある

### グローバル・ビジネスコース

国際的なビジネスに欠かせない理論と実践を体系的に学修。流通、金融、貿易などにおいて、世界に通用する能力を身につけます。

#### → 目指す将来像

- 貿易の世界で活躍したい
- インターネット取引に興味がある
- 物流や流通の企業に就職したい
- グローバルに活躍したい

### 金融エコノミーコース

金融、証券、保険、国際金融、企業会計、ビジネス法務の知識と考え方を習得。企業活動に欠かせない金融に関する専門知識を修得します。

#### → 目指す将来像

- 銀行・金融機関に就職したい
- 株式投資に興味がある
- FP(ファイナンシャルプランナー)になりたい
- 保険の仕組みに詳しくになりたい

## ■ 主なコース科目

	2年次	3・4年次		
マーケティングコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング論</li> <li>・ブランド・マネジメント</li> <li>・サービス・マーケティング</li> <li>・エリア・マーケティング</li> <li>・デジタル・マーケティング</li> <li>・消費者行動論A・B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング・リサーチ</li> <li>・広告コミュニケーションA・B</li> <li>・電子商取引</li> <li>・流通システム論A・B</li> <li>・物流論</li> <li>・貿易論1・2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャル・マーケティング</li> <li>・グローバル・マーケティングA・B</li> <li>・戦略マーケティングA・B</li> <li>・観光マーケティングA・B</li> <li>・消費者法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング管理A・B</li> <li>・貿易政策A・B</li> <li>・経済法</li> <li>・Marketing A・B</li> </ul>
グローバル・ビジネスコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際ビジネスA・B</li> <li>・流通システム論A・B</li> <li>・マーケティング論</li> <li>・デジタル・マーケティング</li> <li>・貿易論1・2</li> <li>・国際商業史A・B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治経済学A・B</li> <li>・ミクロ経済学A・B</li> <li>・マクロ経済学A・B</li> <li>・民法A・B</li> <li>・商法A・B</li> <li>・電子商取引</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル・マーケティングA・B</li> <li>・観光マーケティングA・B</li> <li>・貿易政策A・B</li> <li>・国際経済学A・B</li> <li>・アジア経済論A・B</li> <li>・国際金融論A・B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際取引法</li> <li>・経済法</li> <li>・金融商品取引法</li> <li>・Global Business A・B</li> <li>・Marketing A・B</li> <li>・Finance &amp; Economy A・B</li> </ul>
金融エコノミーコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融論A・B</li> <li>・金融機関論A・B</li> <li>・金融数学</li> <li>・保険論A・B</li> <li>・ミクロ経済学A・B</li> <li>・マクロ経済学A・B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済統計学A・B</li> <li>・財政学A・B</li> <li>・サービス経済論A・B</li> <li>・近代経済史A・B</li> <li>・政治経済学A・B</li> <li>・産業組織論A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際金融論A・B</li> <li>・証券市場論A・B</li> <li>・リスク・マネジメントA・B</li> <li>・損害保険論A・B</li> <li>・金融商品取引法</li> <li>・国際経済学A・B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア経済論A・B</li> <li>・公共経済学A・B</li> <li>・経済政策A・B</li> <li>・産業組織論B</li> <li>・労働経済論A・B</li> <li>・Finance &amp; Economy A・B</li> </ul>

## ■ コース概要

### マーケティングコース

マーケティングコースでは、商品が売れる様々な仕組みを学びます。消費者の購買動機を学ぶ科目や、消費者にとって魅力的なブランドをどのように作るかを学ぶ科目、商品がどのような流通経路をたどって消費者の手元に届くかを学ぶ科目に加え、サービスを対象としたマーケティングや世界市場におけるグローバル・マーケティングなど、幅広くマーケティングを学びたい学生に適したコースです。

### グローバル・ビジネスコース

グローバル化した現代世界経済がどのように形成され、いかなる理論や仕組みで動いているのかを総合的・体系的に学修します。現代ビジネスの様々な側面について英語で学ぶ科目、グローバルな流通や貿易に関する知識や技能を修得する科目、現代世界経済の理論や基礎をマスターする科目が豊富に設けられています。流通、貿易、サービス関連などの分野で、国際的に活躍できる人材を養成することを目的としています。

### 金融エコノミーコース

「資金の取引」と「商品・サービスの取引」の両面から、ビジネスや現代経済の問題を学修するコースです。資金の調達・運用・管理だけでなく、商品やサービス取引の仕組み、経済の理論に関する体系的な知識も身につけます。金融、証券、保険、国際金融といった多くの領域分野の科目や、経済学の各領域の科目から構成されています。自分の学びの関心や目指す将来像にあわせて、基礎から応用までを実践的に学ぶことができます。

## ■ 商業学科のゼミナール



pick up ゼミナール

### 金ゼミナール

研究テーマ:

「マーケティングを実践する」

金ゼミでは、仲間と一緒にマーケティングを実践することによって、マーケティング能力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を高めることをめざしています。理論書の輪読によって基礎力を高め、学年が進むにつれコンペへの参加や、ゼミ生が自主的に選んだテーマの研究、卒業論文の制作へと展開します。

### STUDENT'S VOICE /

#### ゼミのもうひとつの狙いは「世界人材」になること。

内需の縮小と海外新興市場の拡大は、危機であり同時にチャンスでもあるとらえ、世界で活躍できる人材になることがゼミのもうひとつのテーマとされています。世界人材になるためにはチャレンジ精神と異文化への理解を深め、語学の習得も必要となります。マーケティングという枠を超えて、さまざまな視点から世の中を見ることができるのが特徴です。

### TOPICS



#### 地元商店街の個人商店も研究対象に

祖師ヶ谷大蔵駅周辺の個人商店取材し、そのビジネスモデルや強み・弱みをゼミ生が分析。時には経営改善のアドバイスを実施するなど、生活に密着した視点からもマーケティングを学びます。

※この記事は、大学ホームページの広報誌「Kinutaデジタル」CLOSE UP Kinutaに掲載しています。

### 主な研究テーマ

- マーケティングを実践する
- ユーザー・イノベーション
- 貿易政策と国際貿易交渉
- 国際ビジネス研究
- 国際金融の研究
- リスクマネジメントと保険



## 経営学科の学び

経営学科では「企業を動かし、変化に応じて企業を変革していく」ために必要な知識を学びます。数多くの企業の事例を用い、トップの経営判断の流れを疑似体験する、新しいアイデアを生み出しやすい組織の仕組みを考える、効果的にヒトを動かすための心理的要因を考えるといった学びを実践します。これらの学びを通じて、経営に必要な「戦略を立て、組織を作り、人を動かす」といった論理に裏付けられた実践力を身につけることができます。

## 経営学科のコース

### マネジメントコース

組織運営に必要な知識に加え、グローバル化に対応した経営を探究する科目も充実。マネジメント力を身につけ、経営感覚を養います。

#### → 目指す将来像

- 会社の経営企画を担当したい
- リーダーシップを発揮したい
- 社長を目指したい
- 社員の管理・育成に関わりたい

### 事業創造コース

ベンチャービジネスやIT(情報技術)を体系的に学修。ベンチャー企業の基礎事例・理論、経営と情報システムの関連などを学修します。

#### → 目指す将来像

- 起業して成功したい
- 家業を継承・発展させたい
- 情報システムを活用したい
- ネットビジネスを始めたい

## ■ 主なコース科目

	2年次	3・4年次
マネジメントコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営管理論A・B</li> <li>経営戦略論A・B</li> <li>経営組織論A・B</li> <li>人的資源管理論A・B</li> <li>コーポレート・ファイナンスA・B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業倫理A・B</li> <li>経営史A・B</li> <li>企業形態論</li> <li>ビジネス統計</li> <li>グローバル・マネジメントA・B</li> <li>比較経営論A・B</li> <li>経営心理学A・B</li> <li>生産管理論A・B</li> <li>非営利組織経営学A・B</li> <li>環境経営論</li> <li>経営学説史</li> <li>Management A・B</li> </ul>
事業創造コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチャービジネス論A・B</li> <li>中小企業論A・B</li> <li>経営組織論A・B</li> <li>経営戦略論A・B</li> <li>経営管理論A・B</li> <li>人的資源管理論A・B</li> <li>コーポレート・ファイナンスA・B</li> <li>企業形態論</li> <li>ビジネス統計</li> <li>情報ネットワーク論A・B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ解析1・2</li> <li>情報システム</li> <li>コンピュータ・システム</li> <li>プログラミング</li> <li>マルチメディア論A・B</li> <li>データサイエンス</li> <li>情報倫理</li> <li>情報社会と職業</li> <li>ベンチャー・ファイナンス</li> <li>アントルプレナーシップ論</li> <li>知的財産権</li> <li>中小企業経営論</li> <li>中小企業政策論</li> <li>経営心理学A・B</li> <li>生産管理論A・B</li> <li>比較経営論A・B</li> <li>テクノロジー・マネジメントA・B</li> <li>経営情報システムA・B</li> <li>オペレーションズ・リサーチ1・2</li> <li>情報システム分析論</li> <li>情報システム設計論</li> <li>Entrepreneurship A・B</li> </ul>

## ■ コース概要

### マネジメントコース

「戦略を立て、組織を作り、人を動かす」のに必要な知識を体系的に学びます。企業の事例を使って、トップの経営判断の流れを疑似体験したり、新しいアイデアを生み出しやすい組織の仕組みを考えたり、効果的にヒトを動かすための心理的要因を考えたりします。加えて、世界的視野に立ったグローバル・マネジメント、持続可能社会を考える環境経営、高い倫理性を持つ企業行動を考える企業倫理なども合わせて学びます。

### 事業創造コース

ベンチャー企業や中小企業の経営を学ぶことを通して、新たに企業を立ち上げたり、新しいビジネスを創造したりするための能力を養います。また、企業の経営の状態や市場の動向を把握するために必要な分析の手法や知識も身につけていきます。将来、起業を志している人や新しいビジネスを創りだしていきたい人、さらに、後継者として事業を引き継ぐことを希望している人に最適のコースです。



## ■ 経営学科のゼミナール



pick up ゼミナール

### 名見耶ゼミナール

研究テーマ：

「アプリケーションの設計と開発」

名見耶ゼミでは、最初にソフトウェアの設計を学び、グループワークや課題発表を通じてアイデアの作り方や伝え方を習得します。習得後は、アジャイルアプローチによるビジネス用ソフトウェアのシステムの設計とアプリケーションの開発を通じて、「問題解決能力」と「コミュニケーション能力」を身につけます。

### STUDENT'S VOICE /

初学者にもわかりやすい授業で、自然とスキルアップ。

アプリケーションの設計や開発に関して、当初は知識がありませんでしたが、初学者にもわかりやすく指導して下さるので無理なく習得することができました。授業の雰囲気も楽しく、仲間とひとつのアイデアを作り上げていくことの楽しさを知ることができます。今後、実際に自分でプログラミングに挑戦することが楽しみです。

### TOPICS



### 外部講師による特別講座なども開催

通常のゼミナールの時間に加え、夏休みにはゼミ合宿でWebコンテンツの制作を行い、春休みにはプログラミング講習会や外部講師を招いた特別講座を開催しています。

### 主な研究テーマ

- 経営管理（経営戦略と組織デザイン）
- 企業倫理・企業の社会的責任
- イノベーションと戦略経営
- 起業マネジメント 経営戦略
- 中小企業経営と地域経済の振興
- 情報技術・データ分析による問題解決



## 会計学科の学び

会計学科の学びは、集計の技法である「簿記」にはじまり、企業の外部に報告するための会計理論である「財務会計」、企業の内部に報告し、経営者の意思決定をサポートする「管理会計」を学びます。国際会計や監査領域の授業も充実しており、本学科では、会計学を幅広く、深く、かつ体系的に学修できる点が特徴です。公認会計士試験や税理士試験などの国家試験合格をめざした学生の支援も積極的に実施しています。

## 会計学科のコース

### アカウンティングコース

会計の幅広い視野と問題解決能力、理論と実践に関する専門知識を修得。社会の変化に適応し、ビジネス社会をリードする人材を育成します。

#### → 目指す将来像

- CFO(最高財務責任者)になりたい
- 環境保全に関する会計に興味がある
- 企業の経理部門で働きたい
- 税金の仕組みについて知りたい

### 会計専門職コース

公認会計士や税理士など、会計のスペシャリストの育成を目的にしたコース。国家試験の合格をめざすために必要な科目を設置しています。

#### → 目指す将来像

- 公認会計士・税理士を目指している
- 経理の専門家として活躍したい
- 日商簿記検定1級に合格したい
- 会計コンサルタントになりたい

## ■ 主なコース科目

	2年次	3・4年次		
アカウンティングコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記論2</li> <li>財務会計論1</li> <li>制度会計論</li> <li>コンピュータ会計論</li> <li>税務会計論A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会計監査論1</li> <li>原価計算論1</li> <li>管理会計論A</li> <li>管理会計論B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際会計論A</li> <li>国際会計論B</li> <li>会計学説史A</li> <li>会計学説史B</li> <li>財務諸表分析論1</li> <li>財務諸表分析論2</li> <li>環境会計論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税務会計論B</li> <li>経営監査論A</li> <li>経営監査論B</li> <li>会計実践演習</li> <li>Accounting A</li> <li>Accounting B</li> </ul>
	会計専門職コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記論2</li> <li>簿記論3</li> <li>簿記論4</li> <li>財務会計論1</li> <li>財務会計論2</li> <li>制度会計論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税務会計論A</li> <li>会計監査論1</li> <li>原価計算論2</li> <li>管理会計論A</li> <li>管理会計論B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務会計論3</li> <li>税務会計論B</li> <li>会計学説史A</li> <li>会計学説史B</li> <li>国際会計論A</li> <li>国際会計論B</li> <li>財務諸表分析論1</li> <li>財務諸表分析論2</li> <li>所得税法</li> </ul>

## ■ コース概要

### アカウンティングコース

アカウンティングコースは、会計学を幅広くかつ体系的に学修し、これから予想される様々な社会的変化に対応できる論理的思考力、問題発見力とその解決力を養っていきます。また、会計学という共通言語を用いて、様々な国籍の人々との間のコミュニケーション力、リーダーシップ力を向上させて行きます。卒業後は、会計の専門家として経験を積み、経営者や経理部門の管理者を目指す人に最適のコースです。

### 会計専門職コース

会計専門職コースでは、会計の専門職である公認会計士、税理士、あるいは日商簿記検定試験1級の試験合格を目指し、会計学の高度な専門的知識を学修することができます。本コースでは、授業、提携している専門学校、授業外指導を連携させ、学生の挑戦力を促進して、難易度の高い試験の合格に導いていきます。学修に集中することを継続できれば、在学中にこれらの試験に合格することができます。



## ■ 会計学科のゼミナール



pick up ゼミナール

### 紺野ゼミナール

研究テーマ:

「会計情報に基づく企業分析」

紺野ゼミでは、会計学の正しい知識を身につけた上で、さまざまな会社の成長性や財務健全性などを分析し、その良し悪しを判断できるようになることを目指します。最初は基本書をしっかりと学修し基礎を固めた上で、徐々にゼミ生によるプレゼンテーションや、ゼミ全体でディスカッションを行うスタイルの授業を展開します。

### STUDENT'S VOICE /

#### 自主性とオリジナリティが磨かれる環境。

先生のお人柄のおかげで、ゼミ全体が和気あいあいとした雰囲気になっていくことが紺野ゼミの特徴です。ゼミ生が関心のあるテーマを選び、自分なりの分析を加えたうえで発表するなどの自主性が重んじられています。また課題が適量ということもあり、資格取得をめざしている学生にとってはゼミと資格の両立が可能です。

### TOPICS



#### 定期的に行われる課外授業が特徴

東京証券取引所など、授業や課題に関連する企業や施設へ向かい、生の現場を肌で感じることができます。ゼミ生が主体となって積極的に新しいことにチャレンジしています。

### 主な研究テーマ

- 財務会計論
- 会計情報に基づく企業分析
- 国際会計・財務会計
- 現代の企業会計における理論と制度に関する研究
- 管理会計研究
- 税務会計論

## 知識を高め合うばかりでなく、さらなる学びへの意欲にもつながる。

インゼミ大会(ゼミナール研究発表大会)とは、日本大学商学部に所属するゼミナールがそれぞれの研究分野に沿ったテーマを決め研究し、半年以上にわたって磨かれてきた研究の成果を発表する貴重な大会です。

ゼミナール連合協議会委員長に聞く /

### 商学部インゼミ大会



#### Q インゼミ大会の概要について教えてください。

インゼミ大会はプレゼンテーション部門、英語プレゼンテーション部門、討論部門に分かれており、それぞれに向けて各ゼミ生たちが研究分野を決め、研究し、発表し合う大会です。半年以上にわたる研究の成果を発表するわけですから、学生たちの間には張りつめた空気が流れますし、そのぶん普段とは違った真剣な姿を見ることができると思います。また1年生にとっては、これから所属するゼミを選ぶための貴重な機会となると思います。

#### Q これまでのインゼミ大会で印象に残っている場面はありますか。

印象的なシーンはいくつもありましたが、プレゼン部門の予選や本選の結果発表の場で、入賞したチームが指導教員とともに喜んでいる場面は忘れられないですね。また本選では、商学部の先生方に加えて、日本大学商学部を卒業され、社会の最前線で活躍なさっている企業の社長や会計士をされている方々なども来場され、発表された内容に対して質問やアドバイスがいただけるんです。このような経験ができるのも、この大会ならではのことだと思っています。

#### Q インゼミ大会に参加することで、学生が得られるものは何ですか。

大会にはチームで参加することになりますので、チームのメンバーと長い時間をかけて意見を交換し合い、指導教員の助言も得ながら、ひとつの論文をみんなで作り上げるという作業が必要になります。その過程で、しっかりとした論理構成に基づいた論文を書き上げるスキルが身につくと思います。またチーム内で意見が分かれた際には、相手の意見に耳を傾けつつ、自分の考えを理解してもらうためのロジックや効果的な伝え方を自然と学ぶ機会になるのではないかと思います。それから、半年以上にわたって皆でひとつの目標に向かって努力するわけですから、メンバー内には自然と深い友情や絆が芽生えると思います。友達を超えて家族のような関係だと言っている学生もいました。卒業しなくてもずっと関わっていきたいと思える、貴重な人間関係を育める場でもあると思います。



## プレゼンテーション部門

半年以上の研究成果が凝縮されたプレゼンテーション部門。  
1年生にとってはゼミ選びの貴重な機会に。

ゼミに入室してから半年以上、チームでさまざまな議論を重ね、時には学外で調査を行いながらまとめた研究成果を一度に見られるのがインゼミ大会の魅力です。スーツを着込み、緊張のなかプレゼンを行う学生たちの姿は純粹にかっこいいと思いますし、プレゼン前の緊張感と終わったあとの安堵の表情、そのギャップも見ていて感動すら覚えます。発表はもちろんゼミの研究内容に沿ったものになりますので、これからゼミを選ぶ1年生にとっては貴重な機会となるでしょう。自分の知的好奇心を満たすことのできるゼミナールがあるかどうかや、ゼミナールの活動スタイルなどを参考にして選ぶといいかもしれません。



## 英語プレゼンテーション部門

英語力も審査の対象となる英語プレゼンテーション部門。  
高い英語力と他部門と同様のクオリティが求められる。

他の学術大会と照らし合わせても珍しく、その貴重な存在がうかがえる英語プレゼンテーション部門。発表者の高い語学力に一般学生が圧倒されるケースもたびたび見受けられる反面、審査を行う先生方も語学の堪能な方ばかりなので、中途半端な語学力では評点が伸びないということもあります。他の部門と同じように、発表内容のクオリティも当然審査の対象となるので、発表チームの大半は一度日本語で論文を書き上げ、それを英語に翻訳するという作業を行っています。どのチームもぎりぎりまで準備をしているので、その努力の跡をしっかりと感じることができます。



## 討論部門

白熱の議論も、建設的な議論も魅力の討論部門。  
研究内容やしっかりとした論文の構成がカギに。

論文をもとに相手チームと議論を行う討論部門。ひとつのテーマに対してそれぞれ逆方向のアプローチから議論を行う場合もあれば、テーマや課題を実現するためにそれぞれ違う視点から意見を出し合い、最終的にひとつの、より良い方向性を模索するタイプの議論もあります。限られた時間の中で両者の主張をぶつけ合う様子は、討論部門ならではの盛り上がりを感じることができます。この部門では観客席にあらかじめ論文が置かれているので、ゼミでの研究内容がわかりやすく、またしっかりとした論文を書いているゼミを見極める材料にもなります。



### ゼミナール連合協議会委員長のおすすめポイント

**深い見識や経験に基づいた鋭い意見が飛び交う。審査員の先生方の発言にも注目。**

プレゼンテーション会場の雰囲気は、審査員の先生方に委ねられていると言っても過言ではありません。プレゼンを好意的に受け止める先生もいれば、徹底的に厳しく意見してくださる先生もいるなど、その対応はさまざまです。学生では想定することも難しい実務経験に基づいた意見や、最新の業界情勢を熟知したうえでの質問が出されたりすると、学生たちは持っている資料をひっくり返しながら、なんとか質問に食らいつこうと必死になります。ピリピリとした空気が会場を覆うこともあります。会場に足を運んだなら、そんな質疑応答までをセットで見ることをおすすめします。



## 世界を広げる日本大学商学部の留学プログラム

異文化での生活、各国の人たちとの交流、実用的な語学。あらゆる経験が世界を大きく広げます。身についた力は、就職活動におけるアドバンテージにも。日本大学商学部独自のプログラムのほか、日本大学海外学術提携校への交換留学、サマースクールなどにも参加できます。

### 日本大学商学部交換留学生 オデンシア・ビジネススクール



オデンシア・ビジネススクールは、フランス・ナント市に設立された高等教育機関で、1900年に創立したナント高等商業学校を起源とする伝統あるビジネススクールです。国際的な教育品質認証機関であるEQUIS、AACSB、AMBAの認定校ですが、世界のビジネススクールの中でこの3つの認定を取得しているのは全体の1%に過ぎず、その教育と学生のレベルは、フランス国内だけでなく世界的に高い評価を得ています。国際交流にも非常に熱心で、世界各地に学生を派遣するとともに世界中から学生を受け入れており、提携校の数は260校以上です。オデンシアでは、約70カ国の外国人留学生が600名程度学んでおり、英語で行われる授業も充実しています。フランス人学生だけでなく、世界各国から派遣されたレベルの高い留学生と共に商業・経営・会計の専門科目を英語で学ぶことができます。



#### 留学概要

オデンシアの通常科目を正規の学生と共に受講できます。ただし、通常科目を学ぶだけの語学力と専門知識が必要です。通常科目はフランス語で行われますが、英語で行われる科目も多数あります。その他、外国人向けのフランス語会話・文法科目も受講可能です。

#### 交換留学プログラム5つの特長

- Point 1 授業料が全額免除される
- Point 2 留学先で修得した科目は商学部の単位に認定※
- Point 3 留学中も休学扱いにならない
- Point 4 留学先はフランスでも授業は英語で受講できる
- Point 5 半年留学と1年留学のどちらかを選べる

※ 商学部開講科目に振替先がない科目、すでに商学部で履修しており振替できない科目などは、認定できない場合があります。

### 日本大学商学部派遣留学生 ウェスタンミシガン大学年間留学プログラム



アメリカ・ミシガン州にあるウェスタンミシガン大学で、10か月間学ぶプログラムです。同大学はデトロイト・シカゴから車で2時間程度の位置にあり、ビジネスマーケティング、心理学の分野などが高く評価されています。ウェスタンミシガン大学付属英語センターでアカデミック英語を集中的に学べるほか、ウェスタンミシガン大学正規課程の授業を履修することができ、自然に囲まれた広大な敷地でキャンパスライフを楽しめます。留学中に修得した単位は商学部の卒業要件に認定※され、4年間で卒業することが可能です。



#### 留学概要

##### ●ウェスタンミシガン大学正規課程履修コース

ウェスタンミシガンの学生と同じ教室で専門科目を英語で学びます。ただし、GPA2.0以上、TOEFL-ITP500点以上又はTOEFL-IBT61点以上のスコアの取得が必要となります。(2020年度実績。2021年度は変更予定。)

##### ●ウェスタンミシガン大学付属英語学校(CELCIS)語学研修コース

留学期間前半(8月から12月まで)は、大学付属英語学校(CELCIS)において語学研修となります。留学期間後半(翌年1月から5月まで)からは、引き続きCELCISでの語学研修を選択する場合と、CELCISで所定の成績を修め、ウェスタンミシガン大学が認めた場合、大学正規課程の履修ができます。

#### 年間留学プログラム3つの特長

- Point 1 2つの履修コースから自分に合ったコースを選べる
- Point 2 留学中も休学扱いにならない
- Point 3 留学先で修得した科目は商学部の単位に認定※

※ 商学部開講科目に振替先がない科目、すでに商学部で履修しており振替できない科目などは、認定できない場合があります。

## モナシュ大学英語センター短期海外語学研修



オーストラリア・メルボルンにあるモナシュ大学英語センターで実施しているのが、春休み期間を利用した短期海外語学研修。ホームステイを通して実践的な日常英会話に触れることで、異文化への理解を深め、問題解決能力を育成します。グローバル化が急速に進む中、企業が求めるのは世界で活躍できる人材です。英語力、行動力、そしてグローバルな視野。この研修は、「海外で自分を試す」「海外で学びたい」「国際感覚を磨きたい」という目標のある学生をバックアップし、価値ある経験へ導きます。またこの研修は、商学部の認定科目の対象となります。



### 研修概要

プログラムは、春休み期間中(2月～3月)の5週間で実施し、参加学生が実用的な英語能力を段階的に向上させることを目標としています。現地で留学生向けに開講されている英語クラスに参加し、能力別クラスで英語の4技能(Speaking, Listening, Writing, Reading)を学びます。また、滞在先は、モナシュ大学が提供するホームステイ先とすることで、学生が実践的な日常英会話を習得し、さらにホームステイ先での生活を通してオーストラリアの文化を多面的に吸収することが期待できます。

## オデンシア・ビジネススクール春季研修



オデンシア・ビジネススクールは、1900年に創立したナント高等商業学校を起源とする伝統あるビジネススクールです。優秀な学生が通っているキャンパスで学ぶだけでなく、オデンシア・ビジネススクールの学生との交流の場も設けられています。またナントではホームステイをしますので、フランス人と生活をともにすることで、文化の違いを学び、国際的なコミュニケーション能力を身につけることを目的としています。またこの研修は商学部での認定科目の対象となります。

### 研修概要

フランス・ナント市にある商学部提携校のオデンシア・ビジネススクールのキャンパスで、EUビジネスの授業を英語で学びます。また初級フランス語の授業も行われますので、英語やフランス語のみを使用する環境の中で、語学力向上が期待されます。さらにフランスの企業訪問、モンサンミッシェル等の世界遺産見学といったフィールドトリップもプログラムに含まれており、ビジネスを学ぶ学生にとって有益な体験ができます。

## 日本大学海外学術交流提携校(一部)

◇… 商学部主催年間留学プログラム

◆… 商学部主催短期海外研修

**アイルランド**  
メイヌス大学

**イギリス**  
ケンブリッジ大学

**フランス**

◆◆ **オデンシア・ビジネススクール**  
アヴィニョン大学

**スイス**  
北西スイス応用科学・芸術大学

**ドイツ**  
ヨハネス・グーテンベルク大学  
ベルリン自由大学

**デンマーク**  
オーフス大学

**オーストリア**  
クレムス応用科学大学

**フィンランド**  
LUT大学

**スウェーデン**  
ストックホルム大学

**オーストラリア**  
◆ **モナシュ大学**

**アメリカ**  
◇ **ウェスタンミシガン大学**  
エリザベスタウン・カレッジ  
ワシントン州立大学  
アラバマ大学バーミングハム  
ハワイ大学マノア校  
ケント州立大学

**カナダ**  
トロント大学

**中国**  
北京大学  
山東大学  
鄭州大学

**韓国**  
慶熙大学校  
高麗大学校  
延世大学校

**台湾**  
国立台湾大学  
国立中興大学

## ケンブリッジ大学ペンプルックカレッジサマースクール

1209年設立の世界屈指の名門大学で31のカレッジから成り立っています。数理と物理の基礎を築いた17世紀のアイザック・ニュートン、進化論を唱えた19世紀のチャールズ・ダーウィン、20世紀にはマクロ経済学の確立者ジョン・メイナード・ケインズ、DNAの二重螺旋構造を発見したフランシス・クリックなど、ケンブリッジ大学は世界的に優れた人物を輩出しています。また、令和元年10月現在でケンブリッジ大会員ノーベル賞受賞者数は109名にのぼります。 ※ Times Higher Education 2020 世界大学ランキング3位



### Postgraduate Programme

**特色** 「知識を蓄える立場」から「英語によって世界へ知識と情報を発信する立場」になることを目標とするプログラムです。学術論文の英語による執筆、アカデミックな場面での英語によるプレゼンテーションスキルやディスカッションの方法を短期で集中的かつ徹底的に学びます。

**内容** ①学術論文執筆のための英語 ②英語によるプレゼンテーションスキル ③アカデミックレクチャーズ(1)英国文化史 / (2)ダーウィン・進化・生物多様性 / (3)ケンブリッジの建築

**授業時間数** ①学術論文執筆のための英語(21時間) ②英語によるプレゼンテーションスキル(30時間) ③アカデミックレクチャーズ(1)英国文化史(2時間) / (2)ダーウィン・進化・生物多様性(2時間) / (3)ケンブリッジの建築(2時間) ④課外活動(8時間)

### Special Lecture Programme

**特色** 日本大学に在籍する学生のためにケンブリッジ大学ペンプルック・カレッジが考案した特別講義科目を受講します。「英語を学ぶ」段階から「英語を学び、考える」段階へと進みたい学生に最適なプログラムです。

**内容** ①特別講義(1)21席の国際紛争と安全保障 / (2)イングランドに保管されている20世紀美術と建築 / (3)シャーロック・ホームズの秘められた世界 / (4)過去、現在、未来のケンブリッジにおける科学 / (5)映画制作の実践入門 / (6)ビジネス&マーケティング入門 ②語学授業

**授業時間数** 【Special Lecture Course1】①特別講義2科目選択(47.5時間) ②課外活動(14.5時間) 【Special Lecture Course2】①特別講義1科目選択(23.75時間) ②語学授業(37.5時間) ③課外活動(14.5時間)

※令和2年度のサマースクールは、諸般の事情により中止になりました。

商学部の今と、そして明日が見えてくる。

広報誌 Kinuta デジタル

先輩たちの留学体験談等の  
商学部における魅力を紹介します。

**CLOSE UP K!nuta**

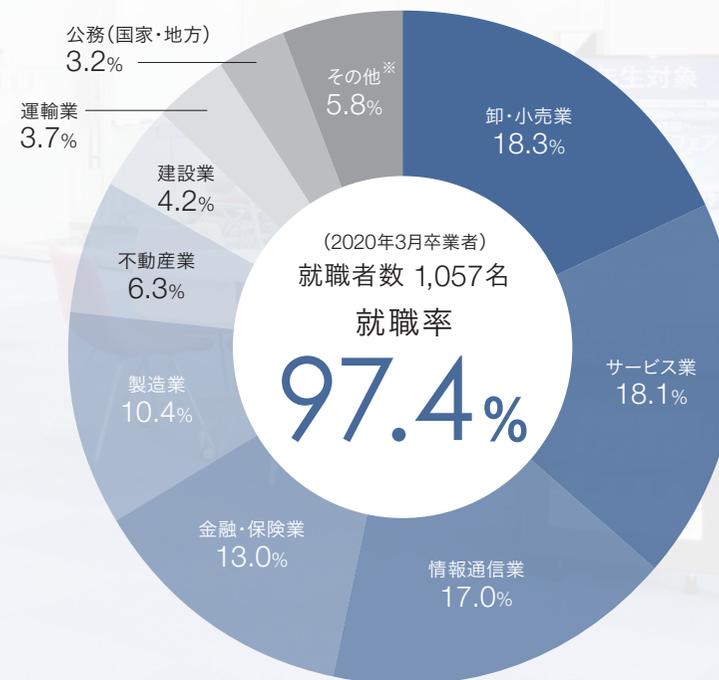




## 4年間の学びと就職サポートで、 社会に必要とされる人材を育成します。

日本大学商学部では、4年間の実学的なカリキュラムや就職サポートによって、幅広い業種・業界に適応できる人材の育成をめざしています。2年次からキャリアデザイン講座を開講し、さまざまな業界で活躍するOB・OGの話や聞くことで早い段階から就業意識や将来像を明確になるように行っています。また就職指導課では、就職に関する個別相談やセミナーを開催し、就職活動に向けて適性試験や業界研究の進め方、エントリーシートの書き方、面接対策など、きめ細やかなサポートを行っています。これらにより2020年3月の卒業生において97.4%という非常に高い就職率を実現。学生を理想の未来へと導いていきます。

業種別就職状況



\*飲食・宿泊業、教育・学習支援、医療・福祉、複合サービス等、農業及びその他

## 就職に強い日本大学商学部

卸・小売業が18.3%、サービス業が18.1%。情報通信業が17.0%で全体の半分を占め、この他にも幅広い業界に就職しているのが日本大学商学部の特徴です。この就職状況を支えているのは、さまざまなサポート体制であり、「企業人事担当者による業界研究会」、「模擬面接」など、学生の就職活動に対応した指導体制を強化しています。



## 2020年3月 卒業者の主な就職先

業種	商業学科		経営学科		会計学科	
建築・不動産	前田建設工業(株) 積水ハウス(株) 大和ハウス工業(株)	野村不動産アーバンネット㈱ 三井住友建設(株) 住友林業(株)	東急リパブル(株) (株)エフ・ジェー・ネクスト 鹿島建設(株)	ミサワホーム(株) クリナップ(株) (株)一条工務店	旭化成ホームズ(株) (株)タカラレーベン 三井不動産商業マネジメント(株)	住友不動産販売(株) スターツCAM(株) (株)竹中工務店
製造業	亀田製菓(株) ユニチカ(株) 味の素AGF(株)	三井金属鉱業(株) 帝人(株) (株)和光ケミカル	東芝三菱電機産業システム(株) ブリヂストンサイクル(株) (株)資生堂	イオンフードサプライ(株) 京セラ(株) 東洋製罐(株)	ケンコーマヨネーズ(株) アイリスオーヤマ(株) 日野自動車(株)	日産自體(株) パナソニック(株) YKK AP(株)
サービス業	富士通(株) 全日本空輸(株) 東日本旅客鉄道(株)	西武鉄道(株) パーソルホールディングス(株) PwCあらた有限責任(監法)	(株)JALマイレージバンク 北海道旅客鉄道(株) 有限責任あずさ(監法)	小田急電鉄(株) 全日本空輸(株) 伊藤忠フィナンシャルマネジメント(株)	(株)JR東海バスセンタージャーズ 東京ベイヒルトン(株) (株)パレスホテル	興銀リース(株) セレサ川崎農業(協) 日本航空(株)
卸・小売業	(株)ファミリーマート 伊藤忠食品(株) 三菱食品(株)	国分グループ 加賀電子(株) (株)ジャパネットホールディングス	郵船商事(株) 日通商事(株) (株)そごう西武	日本出版販売(株) 日本キャタピラー合同会社 ダイワボウ情報システム(株)	小田急商事(株) イオンリテール(株) (生協)コープみらい	(株)ペイクルーズ ソーダニッカ(株) 因幡電機産業(株)
金融・保険業	三井住友信託銀行(株) 第一生命保険(株) 中央労働金庫	城北信用金庫 岡三証券(株) 日本生命保険(相)	SMBC日興証券(株) (株)北陸銀行 (株)宮崎太陽銀行	みずほ証券(株) イオンフィナンシャルサービス(株) (株)りそなホールディングス	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) (株)新生銀行 (株)きらぼし銀行	多摩信用金庫 住友生命保険(相) 明治安田生命保険(相)
公務	青梅市役所 世田谷区役所 横浜市役所	柏市役所 東京消防庁 川崎市消防局	葛飾区役所 川崎市役所 相模原市役所	伊那市役所 川崎市消防局	北区役所 江戸川区役所 会計監査院	財務省東京税関 町田市役所 川崎市役所

## 日本大学商学部のキャリアサポート



## 授業と講座の相乗効果で、資格取得をサポート。

商学部では、18の講座を開講しています。知識を深める機会として、専門学校に行くことなく学内で学べるのが特徴で(公認会計士講座、税理士講座等を除く)、専門学校より比較的安い費用で受講できます。また、資格講座と授業の相乗効果で特定の専門的な知識・技能を深く身につけられます。

＼ 公認会計士現役合格者に聞きました！ ／

### Q1. 公認会計士をめざしたきっかけと、勉強方法について教えてください。

もともとは公認会計士に関して何も知らなかったというのが本音なのですが、大学へ入学する際に両親から、商学部に入るのだから簿記の資格くらいとっておいてもよいのではないかなと言われ、資格講座を受講しました。その講座で先生と面談する機会があり、公認会計士について勧められたので思い切ってチャレンジすることにしました。本格的に勉強をはじめたのは2年次からでしたが、勉強に関してはとにかく量をこなすことを念頭においていました。そのために移動時間に勉強したり、食事の時間を削ったり、とにかく時間を捻出して有効活用しました。試験前の追い込みの時期などは週に100時間以上、1日に15時間くらい勉強していた時期もありました。大変な経験でしたが、結果につながったので無駄ではなかったと思っています。

＼ 公認会計士現役合格者に聞きました！ ／

### Q2. 今後、公認会計士として活躍するうえで、商学部での学びはどのように活かそうですか。

公認会計士として実際に活動をはじめた際に役に立つ、より実践的な知識を修得できるのが商学部の授業だと思います。会計士だからといって会計の知識だけを持ってれば良いわけではありません。さまざまな業種の企業をクライアントにするうえで、その業界のこと、経営に関することなど、ビジネス全般に関する幅広い知識が必要になります。その点、商学部では会計だけにとどまらず、商学、経営学などまさにビジネスに関するさまざまな知識や教養を得ることができるので、他学部出身の会計士と比べても、現場で役に立つ存在になれるのではないかと考えています。また業務によっては語学力が必要になる局面もありますので、それは私の今後の課題として、ビジネスの現場で充分通用する語学力を身につけたいと思っています。

＼ 公認会計士現役合格者に聞きました！ ／

### Q3. これから公認会計士をめざす人に向けて、仕事の醍醐味やアドバイスをお願いします。

公認会計士の資格を持っていると将来的に数多くの選択肢を手にすることができると思います。会計士の資格を持っていると、監査法人ばかりでなく一般企業やコンサルティングファーム、官公庁などといった就職の選択肢があり、また将来的に独立開業するという道もあります。さらに会計士の資格とプラスして他の資格を取得すれば、働き方はより広がっていくと思います。会社を立ち上げるときにも、会社を運営していくときにも、会計の知識は必ず必要になりますから、会計士の資格を持っているだけで、他の人とは見えるものが違ってくるはずですよ。学生時代に何かひとつやりきったと言えることを見つけなさいと言われるかもしれませんが、私の場合は公認会計士の資格取得に向けて努力した時間こそが、かけがえのないものになったと思います。

## 資格取得講座

商学部では、18の講座を開講します。それぞれ内容も充実しており、専門学校に行くことなく学内で十分に学べるのが特長です(※一部は学外の施設で受講)。しかも、専門学校より比較的安い費用で受講できます。また、資格講座と授業のコラボレーションにより学力アップの相乗効果が期待でき、大学生活を充実させることができます。将来の目標に合わせて積極的にチャレンジしてください。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 公務員基礎講座(2年生対象)     | <input type="checkbox"/> 税理士講座(財務諸表論:5月開講コース)   | <input type="checkbox"/> 日商簿記検定1級講座(6月開講コース)    |
| <input type="checkbox"/> 公務員実践講座(3年生対象)     | <input type="checkbox"/> 税理士講座(財務諸表論:1月開講コース)   | <input type="checkbox"/> 日商簿記検定1級講座(11月開講コース)   |
| <input type="checkbox"/> 公認会計士講座(2年コース)     | <input type="checkbox"/> 日商簿記検定3級講座             | <input type="checkbox"/> ファイナンシャルプランナー技能検定2級講座  |
| <input type="checkbox"/> 公認会計士講座(1.5年コース)   | <input type="checkbox"/> 日商簿記検定3級直前講座(10月開講コース) | <input type="checkbox"/> 2級リテールマーケティング(販売士)検定講座 |
| <input type="checkbox"/> 税理士講座(簿記論:5月開講コース) | <input type="checkbox"/> 日商簿記検定3級直前講座(1月開講コース)  | <input type="checkbox"/> 旅行業務取扱管理者講座            |
| <input type="checkbox"/> 税理士講座(簿記論:1月開講コース) | <input type="checkbox"/> 日商簿記検定2級講座             | <input type="checkbox"/> TOEIC®講座               |

## ■ 資格等取得奨励金制度

資格等取得奨励金制度とは、在学中に商学部で定める資格試験等に合格または所定の成績を収めた学生に対して、奨励金を給付する制度のことです。資格等取得奨励金は2012年度から始まり2019年度で8年目を迎えました。年々、奨励金給付額が増えており、学生の資格取得に対する意欲の高さが伺えます。また、資格を取得することが就職活動においても有利に働いています。

2019年度



191件



13,689,000円給付

### 資格等取得奨励金(2019年度給付額)※1

国家公務員総合職	200,000円	応用情報技術者	100,000円	TOEIC®(650点以上)※2	50,000円
公認会計士短答式	200,000円	基本情報技術者	50,000円	TOEFL®(95点以上)	200,000円
税理士(簿記論)	115,000円	ITパスポート	30,000円	TOEFL®(80点以上)※2	100,000円
税理士(財務諸表論)	115,000円	証券外務員(一種)	18,000円	TOEFL®(68点以上)※2	50,000円
日商簿記検定1級	100,000円	証券外務員(二種)	12,000円	IELTS(6.5以上)	200,000円
FP技能検定2級	50,000円	TOEIC®(850点以上)	200,000円	IELTS(6.0以上)※2	100,000円
総合旅行業務取扱管理者	50,000円	TOEIC®(750点以上)※2	100,000円	IELTS(5.5以上)※2	50,000円

※1 給付対象資格、給付額は変更になる場合があります。

※2 より上位のスコアを取った場合、上限を20万円とし、その差額を支給します。

## ■ 資格取得による単位認定

資格取得支援の一環として、資格取得試験等の合格により単位として認められる科目があります。対象となる資格は次の通りです。

- 公認会計士試験短答式 ●税理士試験(簿記論/財務諸表論/法人税法/所得税法/相続税法/消費税法)
- 日商簿記検定1級・2級 ●全経簿記能力検定上級・1級 ●全商簿記実務検定1級

## ■ 外国語科目の外部検定試験・能力試験結果による単位認定

商学部で定める所定の成果を収めることで単位認定されます。

- TOEIC L&R ●TOEIC S&W ●TOEFL iBT ●実用英語技能検定 ●GTEC(Academic / Business)

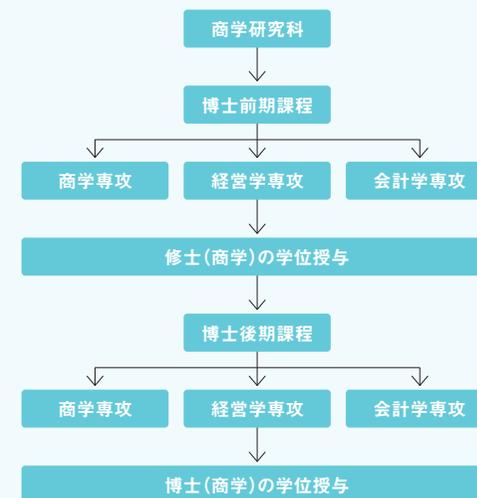
## ■ 教職課程

所定の科目を履修し、必要単位を修得することにより、以下の免許を取得することができます。

- 高等学校教諭一種免許状(商業)

## 研究者・専門家を目指す学生に 大学院商学研究科への進学

商学部での学修をさらに深め、より専門的な知識を身につけ、独自の研究を究めるのが大学院。商学・経営学・会計学の分野において、先進的な研究を担える研究者の養成と、専門知識を持った専門職業人を養成する授業を行っています。近年は、ビジネス社会をリードするハイレベルな知識や技能を有する人材が求められており、ますます大学院への期待とニーズが高まっています。



# 奨学金 制度

## ■ 給付型奨学金

### 経済困窮者への給付型奨学金

経済的理由による修学困難者への支援を目的とした奨学金があります。

#### 奨学金概要

##### 商学部絆奨学金

経済的理由により修学困難な学生に対し給付します。

300,000円

##### 商学部後援会奨学金

経済的理由により修学困難な学生(後援会費を納付している学生)に対し給付します。

300,000円

##### 商学部校友会奨学金

経済的理由により修学困難な学生に対し給付します。

300,000円

##### 商学部校友会準会員奨学金

経済的理由により修学困難な学生(校友会年会費を納付している学生)に対し給付します。

300,000円

##### 日本大学事業部奨学金

経済的理由により修学困難で学業成績及び人物が優良な学生に対し給付します。

240,000円

##### 日本大学創立130周年記念奨学金

経済的支援を必要とし、修学意思が堅固で学業成績及び人物が優良な学生に給付します。

300,000円

この他、資格取得を目指す学生を対象とした「小澤奨学金」があります。

奨学金制度は、毎年改定されています。奨学金の詳細は入学後に募集要項で確認してください。高等教育修学支援新制度に採用された場合、原則、各奨学金制度との併給ができません。ただし、半年間のみ採用された場合は、併給(金額は異なる)できるものがあります。

## ■ 成績優秀者対象制度

### 日本大学特待生

学業成績・人物ともに優秀な  
2年次生以上の学生を対象にした制度です。

[甲種特待生]  
年間授業料相当額の半額  
及び年額120,000円の図書費

[乙種特待生]  
年間授業料相当額の半額

### 商学部奨学金

学業成績が特に優秀でかつ人物が優れており、修学意思が堅固で優良な  
2年次以上の学生に対し給付します。(特待生制度と併給可能です。)

年間授業料相当額の半額

# 学生寮



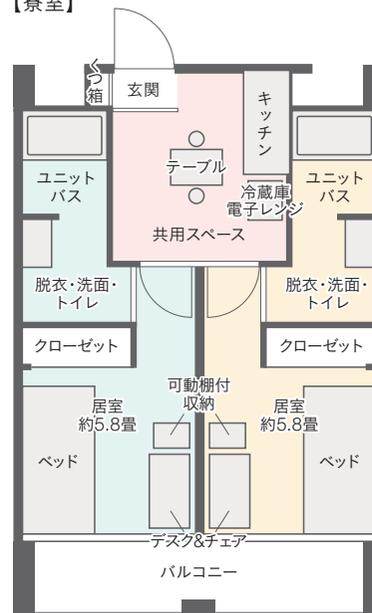
## 2人でシェアして楽しむ暮らし。 ここにはもう1つのキャンパスライフが待っている。

初めての一人暮らしを安心して送れるように、管理員常駐のセキュリティ万全な学生寮です。  
ルームシェア型学生寮ですが、トイレやお風呂は個人スペースに設置されています。

定員 女子60名(30ユニット)

対象学年 学部1年生

### 【寮室】



### 居室設備

エアコン・机・椅子・クローゼット・可動棚付収納・収納付ベッド・洗面台・バスルーム・トイレ・物干し竿(ペランダ用)・カーテン・Wi-Fi対応・くつ箱

### 居室共用設備

ミニキッチン(IHコンロ、流し台)・冷蔵庫・電子レンジ・テーブル・椅子・ゴミ箱

### その他の共用設備

ランドリールーム(コイン式)・シューズボックス・メールボックス・宅配ボックス・COMMONルーム・スタディールーム・駐輪場

### 個人で準備するもの

IH用調理器具(鍋等)・炊飯器・寝具セット(枕、掛布団、敷布団)<sup>※1</sup>・テレビ<sup>※2</sup>

※1 有料レンタルあり

※2 テレビ等を持ち込まれる場合は、放送法に基づきNHK受信料が発生します。

## 日本大学学生寮の紹介

日本大学学生寮

検索

### 女子寮

- **レガーマリアン宮坂** 小田急線「経堂」駅 徒歩8分・東急世田谷線「宮の坂」駅 徒歩5分/月額 65,000円<sup>※2</sup>
- **レガーマリアン赤堤** 京王線・東急世田谷線「下高井戸」駅 徒歩8分/月額 65,000円<sup>※2</sup>
- **レガーマリアン東が丘** 東急田園都市線「駒沢大学」駅 徒歩12分/月額 65,000円<sup>※2</sup>

### 男子寮

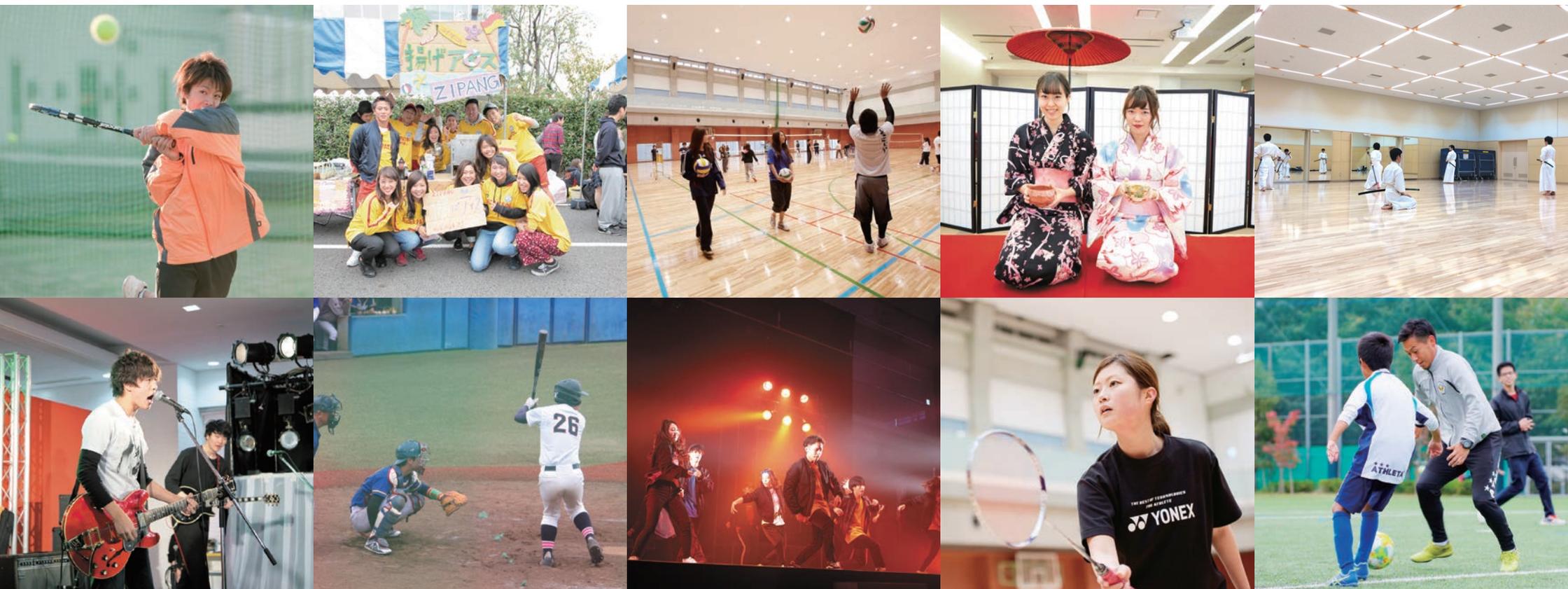
- **バンデリアン町田** 小田急線「玉川学園前」駅 徒歩15分/月額55,000円<sup>※2</sup>
- **バンデリアン稲城** 小田急多摩線「栗平」駅 徒歩12分/月額35,000円(光熱水費込み)<sup>※1</sup>
- **武蔵俊英学寮** JR中央線・総武線「三鷹」駅 徒歩15分/月額 448,000円  
【成績優秀者対象】

※1 ランドリー代、生活必需品、食費が個別に発生します。 ※2 個室の光熱水費や生活必需品、食費が個別に発生します。

## サークル 活動

# キャンパスライフに彩りを添える、個性豊かなサークル

商学部には、46の大学公認団体のクラブ・サークルがあります。スポーツ系、学術・文化系などさまざまなジャンルを有し、共通の趣味や目的を持った仲間たちと、かけがえのない時間を過ごすことができます。



### ■ 学術・文化系

IVUSA(ボランティア)/AIR(バレーボール)/s.s.c TOM(シーズンスポーツ)/LMC(軽音楽)/劇団おいおい/  
会計学研究会/企画研究会/CLASSIC TURKEY(オールラウンド)/経営学研究会/広告学研究会/茶道部/  
漫画研究会/写真研究会/JAZZ研究会/Juicy(軟式野球)/証券研究会/SWITCH(サッカー)/鉄道研究会/  
ネベンシー(軟式野球)/BSR(バイク)/Booby Trap(テニス)/Play with us(オールラウンド)/放送研究会/  
サーフライゼービングクラブZIPANG/旅行研究会CREW/ロック研究会/JBS(ダンス)

### ■ スポーツ系

居合道部/櫻商剣道部/競技ダンス部/ゴルフ部/少林寺  
拳法部/サッカー部/卓球部/軟式野球部/男子バスケット  
ボール部/バドミントン部/洋弓部/ラグビー部/女子ラク  
ロス部/男子ラクロス部

### ■ 留学生会

韓国人留学生会/中国学生交流会

### ■ 学生団体

体育団体連合会/ゼミナル連合協議会/  
砦祭実行委員会

# イベント



## インゼミ大会

日本大学商学部に所属するゼミナールがそれぞれの研究分野に沿ったテーマで研究し、発表・討論するインゼミ大会(ゼミナール研究発表大会)。プレゼンテーション部門、英語プレゼンテーション部門、討論部門に分かれ、知の熱戦が繰り広げられます。



## 学園祭(砦祭)

商学部の学生のみならず、地域の方々と協同で開催する学園祭「砦祭」。ミス・ミスターコンテストや神輿パレード、サークル等によるバラエティ豊かな模擬店などさまざまな催しが開催され、日本大学商学部が1年で最も盛り上がるイベントです。



## 合言葉は“Smart Campus” 明るくて開放的なキャンパスも日本大学商学部の魅力

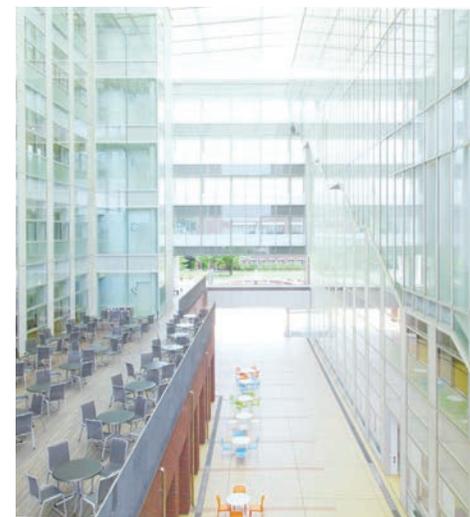
スタイリッシュで居心地が良く、しっかりと学修に取り組める環境が整った日本大学商学部のキャンパス。最先端のIT環境など設備も充実しています。



2号館 ウッドデッキ



噴水ライトアップ



ギャラリー



1号館 大教室



図書館 いろいろ型思索エリア



2号館 ゼミナル教室



図書館 グループ学習室



図書館 アクティブラーニングルーム



本館 就職指導課



本館 学生課



本館 教務課



1号館 PC教室



1号館 サイバースペースコスモス



1号館 サイバースペースコスモス(グループ学習室)





1号館 購買「Caoze(カオーゼ)」



体育館 アリーナ



大蔵グラウンド クラブハウスPERCA(ベルカ)



3号館 食堂「アゼリア」



日本大学商学部  
ミネルヴァKINUTA

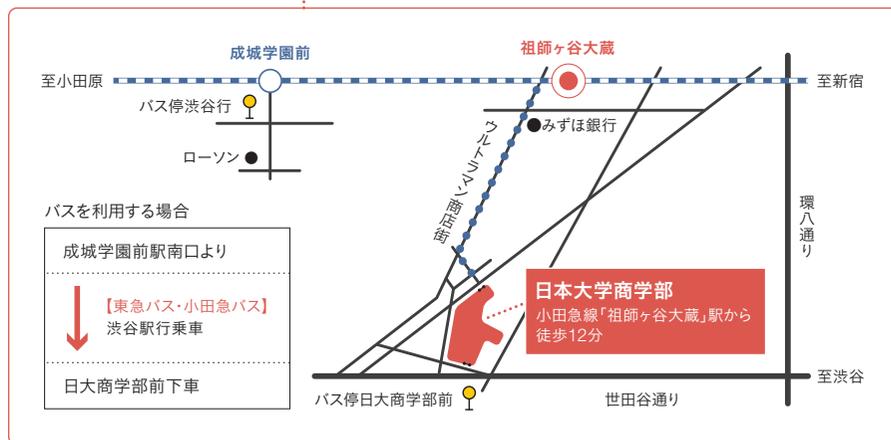
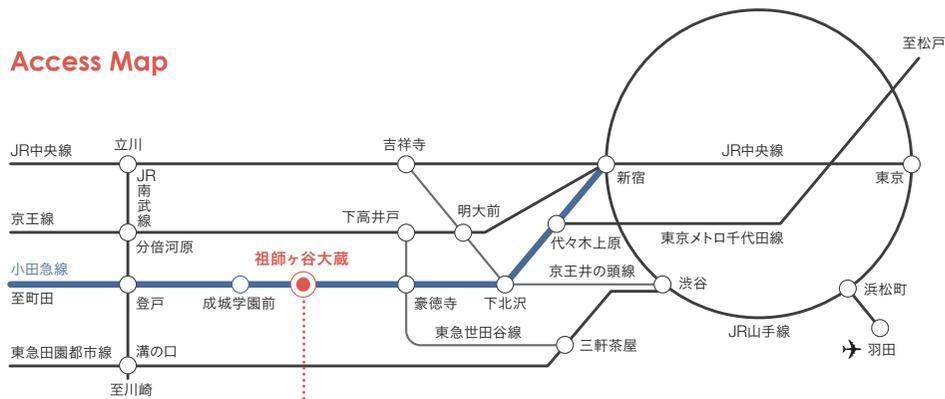


学生寮「ミネルヴァKINUTA」



大蔵グラウンド

## Access Map



お問合せ先

**日本大学商学部 商業学科／経営学科／会計学科**

〒157-8570 東京都世田谷区砧5-2-1 TEL.03-3749-6735(入試係)

詳細はこちら

[日本大学商学部ホームページ](#)

日本大学商学部

検索

ホームページ  
QRコード

